

評議員会で令和2年度の事業報告及び決算が承認されました

6月27日(日)午後1時から第30回社会福祉法人はばたき福祉事業団評議員会が開催され、令和2年度の事業報告及び決算が承認されました。なお、3月20日(土)の理事会では、令和2年度の事業計画及び予算も滞りなく承認されました。皆様から頂戴いたしました令和2年度の賛助会費は2,161,000円、寄附金は4,991,000円でした。はばたきへの多大なるご理解とご支援、本当にありがとうございました。今年度も、引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

Habataki

生きる力を高め、医療福祉を創造するはばたき福祉事業団
 患者が変われば、医療は変わる

令和2年度 決算書

貸借対照表				事業活動収支計算書				資金収支計算書			
(単位:円)				(単位:円)				(単位:円)			
令和3年3月31日現在	社会福祉事業	公益事業	合計	令和2年4月1日	令和3年3月31日	令和2年4月1日	令和3年3月31日	令和2年4月1日	令和3年3月31日	令和2年4月1日	令和3年3月31日
流動資産	6,898,842	14,624,903	21,523,745	相対事業収入	73,888,113	3,400,000	77,288,113	相対事業収入	73,888,113	3,400,000	77,288,113
現金預金	3,926,894	14,624,903	18,551,797	調査研究事業収入	0	17,100,000	17,100,000	調査研究事業収入	0	17,100,000	17,100,000
事業未収金	799,712	0	799,712	経常経費等付入金収入	4,991,000	0	4,991,000	経常経費等付入金収入	4,991,000	0	4,991,000
前払金	418,000	0	418,000	サービス活動収益計(1)	78,879,113	20,500,000	99,379,113	受取利息配当金収入	11,542	139	11,681
前払費用	1,754,236	0	1,754,236	人件費	25,706,183	6,903,331	32,609,514	その他の収入	2,349,337	0	2,349,337
基本財産	109,000,000	0	109,000,000	事業費	4,761,911	1,744,331	6,506,242	事業活動収入計(1)	81,239,992	20,500,139	101,740,131
定期預金	109,000,000	0	109,000,000	事務費	42,990,164	11,982,708	54,972,872	人件費支出	25,706,183	6,903,331	32,609,514
その他の固定資産	175,377,129	813,630	176,190,759	減価償却費	1,662,611	249,689	1,912,400	事業費支出	4,761,911	1,744,331	6,506,242
土地	6,510,384	0	6,510,384	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	75,120,869	20,280,239	95,401,108	事務費支出	42,990,164	11,982,708	54,972,872
建物	3,478,085	0	3,478,085	受取利息配当金収入	11,542	139	11,681	事業活動支出計(2)	73,459,258	20,030,370	93,489,628
器具及び備品	9,344,463	813,630	10,158,093	その他のサービス活動外収益	2,349,337	0	2,349,337	事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	7,781,734	469,769	8,251,503
権利	284,600	0	284,600	サービス活動外収益計(4)	2,360,878	139	2,361,018	施設整備等収入計(4)	0	0	0
拠出金積立資産	145,112,947	0	145,112,947	固定資産売却損・処分損	0	0	0	固定資産取得支出	6,896,730	476,800	7,373,530
差入保証金	6,646,650	0	6,646,650	サービス区分間繰入金費用	0	0	0	施設整備等支出計(5)	6,896,730	476,800	7,373,530
資産の部合計	282,275,971	15,438,533	297,714,504	特別費用計(8)	1	1	2	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 6,896,730	△ 476,800	△ 7,373,530
負債の部				特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 1	△ 1	△ 2	その他の活動収入	0	0	0
流動負債	5,786,166	103,504	5,889,670	前期繰越活動増減差額(12)	116,257,736	14,115,129	130,372,865	サービス区分間繰入金収入	0	0	0
事業未払金	5,786,166	52,606	5,838,772	当期増減活動増減差額(13)=(7)+(10)	6,119,122	219,900	6,339,022	その他の活動収入計(7)	0	0	0
職員預り金	0	50,898	50,898	前期繰越活動増減差額(11)=(9)-(10)	110,138,614	13,895,229	124,033,843	積立資産支出	0	0	0
前受金	0	0	0	前期繰越活動増減差額(12)	116,257,736	14,115,129	130,372,865	サービス区分間繰入金支出	0	0	0
負債の部合計	5,786,166	103,504	5,889,670	当期増減活動増減差額(13)=(11)+(12)	122,376,858	14,335,029	136,711,887	その他の活動支出計(8)	0	0	0
純資産の部				基本金取崩額(14)	0	0	0	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0
基本金	9,000,000	1,000,000	10,000,000	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	予備費支出(10)	0	0	0
資本金	9,000,000	1,000,000	10,000,000	その他の積立金積立額(16)	0	0	0	当期資金収支差額合計(11)=(9)+(10)	885,004	△ 1,031	883,973
その他の積立金	145,112,947	0	145,112,947	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)-(15)-(16)	122,376,858	14,335,029	136,711,887	前期未支払資金残高(12)	227,672	14,522,430	14,750,102
拠出金積立金	145,112,947	0	145,112,947					当期未支払資金残高(11)+(12)	1,112,676	14,521,399	15,634,075
次期繰越活動増減差額	122,376,858	14,335,029	136,711,887								
次期繰越活動増減差額	122,376,858	14,335,029	136,711,887								
(うち当期活動増減差額)	6,119,122	219,900	6,339,022								
純資産の部合計	276,489,805	15,335,029	291,824,834								
負債及び純資産の部合計	282,275,971	15,438,533	297,714,504								

令和3年度 予算書

令和3年度 予算書			
(単位:円)			
事業活動による収支	施設整備による収支	その他の活動による収支	予備費(10)
収入	収入	収入	収入
相対事業収入	施設整備等収入計(4)	積立資産取崩収入	1,000,000
調査研究事業収入	施設整備等支出計(5)	サービス区分間繰入金収入	1,010,000
経常経費等付入金収入	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	その他の活動収入計(7)	2,510,000
3,000,000	0	その他の活動収入計(7)	2,510,000
15,000	0	サービス区分間繰入金支出	1,010,000
0	0	その他の活動支出計(8)	1,010,000
2,700,000	0	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,500,000
79,675,000	0	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,500,000
20,500,000	0	予備費(10)	1,000,000
100,175,000	0	当期資金収支差額合計(11)=(9)+(10)	230,000
100,175,000	0		
38,194,800	0		
7,337,000	0		
55,838,200	0		
101,170,000	0		
△ 995,000	0		
△ 995,000	0		
1,500,000	0		
1,735,000	0		
3,235,000	0		
1,735,000	0		
1,735,000	0		
1,000,000	0		
△ 495,000	0		
1,080,709	14,521,744	15,602,453	
1,310,709	13,796,744	15,107,453	

はばたき福祉事業団の活動は、拠出金や補助金、助成金などで運営されています。しかし、運営費用は年々厳しさを増してきており、経費節減の努力を最大限にしておりますが、事業を安定的に取り組み、被害者を継続的に救済していくためには、多くの方からのご寄附、賛助金等のご支援が欠かすことができません。はばたき福祉事業団は平成23年11月1日に税額控除対象法人となり、はばたき福祉事業団へのご寄附は、以下のように税制上の優遇措置の対象となります。

＜個人によるご寄附＞
 所得控除と税額控除のうち有利な方を選べます。税額控除は税額から直接控除額を差し引きますので所得控除と比べて減税効果が大きく、寄附者に大きなメリットになります。

＜法人によるご寄附＞
 一般寄附金の損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額の範囲内で損金として算入できます。こうした制度もご利用していただき、ぜひとも暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【郵便振替】
 口座番号：00130-4-409457
 名義：社会福祉法人はばたき福祉事業団

クレジットカードでも可能です。
 ホームページからアクセスしてください。

WEBから簡単・便利にクレジットカード、使えます
寄付のお願い

社会福祉法人はばたき福祉事業団
 Social Welfare Project HABATAKI Welfare Project

- 東京本部 〒162-0814 東京都新宿区新小川町9番20号 新小川町ビル5F TEL 03-5228-1200 FAX 03-5227-7126
- 北海道支部 〒064-0805 札幌市中央区南5条西10丁目 サンハイツ南5条1005号 TEL 011-551-4439 FAX 011-211-4502
- 東北支部 〒980-0812 仙台市青葉区片平1丁目2-38 チサンマンション青葉通り905号 花咲み法律事務所 TEL/FAX 022-215-0303
- 中部支部 〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目4-3 錦パークビル2階 さくら総合法律事務所気付 TEL 052-265-6663
- 九州支部 〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-2-5 東峰マンション第一西公園303号 TEL/FAX 092-717-6329

暑中お見舞い申し上げます

昨年、大平勝美前理事長が亡くなり、新体制がスタートして1年が経過しました。新型コロナウイルスの感染拡大下でこれまでとは全く異なる対応、事業運営が求められる中、事業団一同不安を抱えながらの新たな船出となりましたが、なんとか1年を無事乗り切ることが出来ました。これも平素よりはばたき福祉事業団をご支援いただいている皆様のお力添えによるものとたいへん感謝しております。

先日、はばたき福祉事業団は、評議員会、理事会を開催し、令和2年度の事業および決算が承認され、新たな役員も選任されました。一つの区切りがつかしました。それと同時に、新たな事業も本格的に始まります。これから夏本番を迎え、暑さも厳しくなります。私たちも、夏よりも熱い気持ちを持って事業に邁進してまいりますので、ぜひ皆様、ご支援よろしくお願いいたします。

第16回はばたきメモリアルコンサート 3名の若手演奏家の競演で、大平前理事長を追悼しました

6月11日(金)に王子ホールにて、第16回はばたきメモリアルコンサートが開催され、100名近い方にご来場をいただきました。新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下での開催となりましたが、感染予防対策を十分施したうえで行いました。

出演者は、ソプラノの竹多倫子さん、テノールの隠岐速人さん、そしてピアノの北田法子さん。このコンサートは、薬害エイズ事件を知らない若い世代に被害の実態と教訓を伝えていくことに主眼を置いており、演奏も若い世代の3名が競演しました。曲目は映画やオペラの名曲を集めたもので、誰もが一度は聞いたことがある、親しみのある内容でした。

また、今回は昨年6月21日に亡くなった大平前理事長の一周忌と時期が重なることから、大平前理事長への追悼を込めて行いました。冒頭では、はばたき福祉事業団よりメッセージを捧げ、大平前理事長が好きだったモーツァルトのオペラなどを演奏するとともに、休憩の合い間にはこれまでの足跡を写真で振り返るスライドショーをご来場の皆様に見ていただきました。音楽が大好きだった大平前理事長も、天国からこのコンサートと一緒に楽しんでもらえたと思います。なお、メッセージは、次ページでご紹介します。



左から、北田さん、竹多さん、隠岐さん。偶然にも誕生日が3日連続で並んでいる3人は息もピッタリ

第16回はばたきメモリアルコンサート 大平前理事長へのメッセージ

この写真は、2014年4月1日に発行した機関紙「はばたき」での新年度のご挨拶の時のものです。この年は、被害者の長期療養の課題に対応するために「くらしつくるプロジェクト」を立ち上げた年でした。

この中で大平さんは、被害者が住み慣れた地域や質の高い医療と併設された療養場所で自分らしく最期まで暮らしていくために支援をしていきたいと、今後の夢を語っていました。

「夢」。この言葉は、大平さんを語る時には欠かせないキーワードだだと思います。大平さんが自分の理想を語る時、それを聞いた多くの人は、そんな夢物語、かなうわけがないと思うことでしょう。しかし、大平さんにとって「夢」とはかなうものであり、実現するものなのです。

だからこそ、大平さんが成し遂げたいと思う夢は、次から次へと溢れるように出てくるし、諦めるということもありませんでした。

今日ご来場の方の中には、医療者の方もいると思います。もし、HIVは完治する病気ですか？と質問されたら、おそらく皆さん「NO」と答えるでしょう。医学的にはそうかもしれません。でも、HIVは完治するという夢を持っていた大平さんは、亡くなるまでその夢の実現を信じていました。

そしてその「夢」は、必ずしも壮大なものではありません。大平さんの趣味の一つに海外旅行がありました。世界中を旅したい、それが大平さんの夢でした。今から何十年も前に血友病患者が海外旅行に行く、というのは非常にハードルが高かったことと思います。でも、世界中を旅行しています。しかもアフリカや南米の秘境まで。たとえ脚が悪くても。

そして、音楽が大好きだった大平さんにとって、このコンサートも「夢」がかなったものなのです。大平さんの人生とは、たくさんの「夢」の結晶なのです。

本日は、3人の音楽家が登場します。大平さんの好きだった曲で追悼し、誰もが聞いたことのある映画やオペラの名曲で楽しんでいただきたいと思います。

それでは今宵のひと時、大平さんの夢を、一緒に分かち合ってください。

第16回はばたきメモリアルコンサート
「ご来場の皆様へ」より



大平前理事長を偲ぶ会を今年中に開催したい思います。日時、形式、内容については現在検討中ですので、決まりましたらホームページ等でお知らせいたします。

生活支援拠点事業 再スタート

ベースステーションの設備もスタッフも充実してきました

機関紙「はばたき」第58号にて、昨年11月から生活支援拠点事業が始まり、被害者の居場所となる施設（通称「はばたきベースステーション」）を借りることができたことをご報告しました。その後、12月には被害者の自主企画を行い、いよいよ本格稼働というところで年明けに2度目の緊急事態宣言が発出され、3度目の緊急事態宣言も発出されましたが、しかしこの間、ベースステーションをさらに充実させ、新たなスタッフにも加わっていただき、5月より限定的ではありますが、再スタートを切りました。

既にご報告しましたが、部屋の中はテーブルやいす、テレビなど、被害者が過ごすための一式が揃っています。いすは高さや肘かけの有無など何種類も用意し、自分の関節の状態にあったものを選ぶようにしています。ちょっとしたショールームのような感じです。また、コロナ禍で外出機会が減り、体を動かすことが少なくなったことから、楽しみながら簡単な運動が出来るようにとリングフィットを購入しました。健康管理に役立てていただくために体成分分析装置「InBody」も設置しました。

新型コロナウイルスがまだ落ち着きを見せていない現在は、開所日を限定しておりますが、いずれは常時開所する予定です。そして、被害者の企画による自主的な活動に利用できるようにするとともに、将来的には様々なアドバイザーを招いて自己管理や自立のためのステップとしても活用していきたいと考えています。

北海道支部からのお知らせ

HIV検査における受検者支援の実際を学ぶマンガと

日本のHIV医療体制の成り立ちを学ぶDVDを作成しました

北海道支部では、毎年地域でHIVの検査業務を担う保健師を対象に、HIVの基礎知識を学び、相談スキルを取得するために、北海道HIV検査相談担当者研修会を開催していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため開催が中止となりました。その代替として、「マンガでわかるHIV検査における受検者支援の実際～受検から病院受診まで～」を作成しました。検査業務についたばかりの方はもちろん、経験豊富な方にも役立つ内容となっています。

また、この3月で薬害エイズ裁判は和解から25年が経過しましたが、残念ながら薬害エイズ事件は少しずつ風化しつつあり、和解に至る経緯やHIV医療体制の成り立ちを知る人も少なくなりました。そこで和解当時の原告や医療者の思い、どのような議論の下に制度が成り立ってきたのかを知るために、昨年日本エイズ学会において「どのようにしてHIV医療体制がつくられたのか」というシンポジウムを開催しました。そして、このときの講演をまとめて、北海道からの受託事業の一環でDVDを作成しました。

これらをご希望の方には、はばたき福祉事業団よりお送りいたしますので、ご連絡ください。



ベースステーションの様子。器具が充実してきました(上)。InBodyは体重の計測だけでなく、栄養評価もできます(左)



主人公の新人保健師を通して、受検者支援を学ぶストーリーです

DVDの講演者は弁護士、医療者、当事者の5名です